

## あらゆる画面サイズで最適なユーザーエクスペリエンスを提供し、ユニークユーザーが 50% 増加

### The Japan Times

#### The Japan Timesについて

- ・ [japantimes.co.jp](http://japantimes.co.jp)
- ・ 東京都
- ・ 英字新聞(紙媒体)発行/英文ニュースサイト運営/英語学習書・日本語教材の出版

#### 目標

- ・ オンラインでの収益アップ
- ・ 一つのブラウザベースのサイトにすることによるユーザーベースの拡大

#### アプローチ

- ・ ユーザビリティを考慮し、ブラウザベースのサイトを構築
- ・ レスポンシブウェブデザインを採用し一つのレイアウトで多様なデバイスに対応
- ・ サイトをモバイルやタブレットユーザーも見やすいデザインに改良

#### 結果

- ・ ユニークユーザーが 50% 増加
- ・ 新規訪問数が 30% 増加
- ・ モバイルデバイスからのアクセスが 79% 増加
- ・ 全体のページビューが 11% 増加

#### マルチスクリーンについて

私達が日常接触するメディアの 9 割がスクリーンメディアです。ユーザーはスマートフォン、タブレット、パソコンやテレビなど、複数のデバイスを状況に応じて選択し、それぞれの目的に合った使い方をしています。マルチスクリーンの進展に伴い、ご自身のウェブサイトがスマートフォンやモバイルデバイスに最適化されているかどうか、ビジネス成功の鍵です。Google のマルチスクリーンリソースは、ユーザーがあらゆるデバイスから訪れても、最適なユーザーエクスペリエンスを提供できるウェブサイト構築するためのヒントをご紹介します。

詳細については以下をご覧ください。

<http://www.google.co.jp/think/multiscreen/whitepaper-multiscreenconsumer.html>



世界 200 カ国以上の人々が訪れる国内最大級の英文ニュースサイトである「The Japan Times Online」は、日本人と外国人の相互理解を深めることを目的とし、国内の情報を世界に幅広く発信するオンラインサービスです。同社が発行する日刊英字新聞「The Japan Times」は 1897 年(明治 30 年)、当時の元勳である伊藤博文や福沢諭吉ら政界人の支援によって創刊され、日本人が編集・経営する英字新聞の中で最も長い歴史を誇っています。

以前から当社では、オンラインでどのように収益を上げるかを課題とし、また CMS が古かったためマルチスクリーン対応について検討していました。アプリの開発も検討しましたが、The Japan Times Online は幅広い年齢層の読者がいるため、以前と同じ URL でありながら、どのデバイスでも最適なユーザーエクスペリエンスを提供できるレスポンシブウェブデザインに利便性を感じました。1 つのレイアウトと 1 回のコンテンツ更新であらゆる画面サイズに対応できることも魅力です。

マルチスクリーン対応をした結果、ユニークユーザーは 50%、新規訪問数が 30% 増加しました。モバイルデバイスからのアクセスは対応前よりも 79% 増加し、全体のページビューが 11% 増えました。モバイルからのトラフィックが増加したのは、レスポンシブウェブデザインを用いたからこそ得られた結果だと思っています。

「1 つのコードで様々なデバイスに対応でき、直接コンテンツをどのスクリーンサイズでも見られる、という発想が魅力的でした」

マーク・トンブソン氏(株式会社ジャパントイムズ シニアウェブエディター)

千振 弘光氏(株式会社ジャパントイムズ デジタル事業部 次長)

サイトデザインについてユーザーからは大変良い評価をいただいています。今後は、影響力の大きいソーシャルメディア上でどのようにコンテンツシェアを伸ばすかを課題としていきます。また、モバイルユーザーが増えたことから、最新ニュース表示をアラートして表示するなどの機能も検討していきたいです。

弊社は「日本と世界との対話を促進する」ことをミッションの一つとして掲げています。そのため、世界 200 カ国以上の人々が訪れる国内最大級の英文ニュースサイトである「The Japan Times Online」がレスポンシブウェブデザインになったことで、より多くの方々に使用してもらえるようになったのはこのミッションに基づく大きなビジネス成果であり、今後もこのウェブサイトを通して日本を世界に発信する役割を果たしていきたいと考えております。